

防除指針 II

植物成長調整剤の使用上の一般的注意事項

1. 作物に対する成長調整剤の利用は成長調整剤の作物に対する成長調整機能を利用して、作物の成長を好ましい方向に調節するものであるが、その役割はあくまで補助的なものであるので、その効果を過信しないようにする。
2. 成長調整剤はホルモンの働きを示すものが多いので、使用にあたっては使用時期、使用濃度、使用量に十分注意するとともに、他作物などへ飛散しないよう注意する。
3. 使用後の残液、器具洗浄液などの処理については、除草剤と同様に慎重な取扱を心がけること。

植調剤（参考資料）

植調剤

作物名	薬剤名	使用目的	品種及び作型	特徴及び注意事項
ふき	ジベレリン水溶剤 (ジベレリン水溶剤) ・ジベレリン ・ジベラ錠 ・ジベラ錠5	生育促進	—	1. 収穫間近に散布すると効果が減少することがある。 2. 晴天の日の午前11時～午後1時頃までの散布が効果が高い。 3. 調整した薬液は放置すると効果が低下するため、調整当日に使いきる。また、調整液は日陰に置くように注意する。
ブリンラ	ジベレリン液剤・水溶剤 (ジベレリン液剤・水溶剤) ・ジベレリン ・ジベラ錠 ・ジベラ錠5	開花促進	品種：マ ラコイデ ス	1. 単剤使用を厳守する。 2. 効果の持続期間は、濃度や使用時期、草勢によって異なるので注意する。 3. 調整した薬液は放置すると効果が低下するため、調整当日に使いきる。また、調整液は日陰に置くように注意する。
みやこわすれ	・ジベラ錠5 ・ジベレリン液剤	開花促進 草丈伸長促進	—	1. 使用は最小限にとどめ、徒長や軟弱化を防ぐ。 2. 単剤使用を厳守する。 3. 効果は濃度や使用時期、草勢によって異なるので注意する。
しらん		開花促進 草丈伸長促進	—	4. 調整した薬液は放置すると効果が低下するため、調整当日に使いきる。また、調整液は日陰に置くように注意する。
シクラメン		開花促進	—	1. 品種により効果が異なる。 2. 使用量が多くなると効果が不安定となることがあるので注意する。
チューリップ	ジベレリン液剤・水溶剤 (ジベレリン液剤・水溶剤) ・ジベレリン ・ジベレリン液剤	開花促進	促成栽培	3. 調整した薬液は放置すると効果が低下するため、調整当日に使いきる。また、調整液は日陰に置くように注意する。
ボインセチア	スミセブンプ液剤 (ウニコナゾールP液剤)	節間の伸長抑制 (わい化)	—	1. 単剤使用を厳守する。 2. 使用薬量が多いほど抑制程度が大きくなるので、希望する抑制程度に合わせて使用する。 3. 栽培管理が不適当な場合は十分な効果が得られないことがあるので、適切な栽培管理のもとで使用する。
マメツゲ イヌツゲ	オキシベロン粉剤0.5 (インドール酪酸粉剤)	さし木の発根促進及び発生根数の増加	—	1. 単剤使用を厳守する。 2. 過剰処理はかえって効果が劣るので、うすく粉衣する。 3. 系統や品種により効果が認められない場合がある。
イヌツゲ	オキシベロン液剤 (インドール酪酸液剤)	さし木の発根促進及び発生根数の増加	—	1. 単剤使用を厳守する。 2. 使用濃度と浸漬時間を厳守する。 3. 系統や品種により効果が認められない場合がある。
キンボウジュ				
カイズカイブキ				
ヒマラヤシダー				